

## 2018 年度 修士論文題目

1	日本のプロテスタント・キリスト教界における 女性の立場と働きに関する質的研究
2	明治初期農村伝道における福田聖公会の歴史的意義考察
3	共通恩恵論の神学的基盤の提示
4	「神による פָּקַד (試みる)」について
5	日本の教会における信徒弟子化による教会形成への考察 ー日本の教会の事例研究を中心に
6	ジョン・M・L・ヤングと父ルーサー・L・ヤング ～戦中と戦後の在日宣教師に見る神社参拝拒否とは～
7	聖霊によって心が燃やされるールカの福音書 24 章 32 節の積義ー
8	イザヤ書 6 章 9-10 節における「心を頑なにするメッセージ」
9	亀谷凌雲の道德観と万人完救論
10	湊晶子における福音主義と女性のほんとうのひとり立ち